

1. 東北地域における環境ビジネスについて

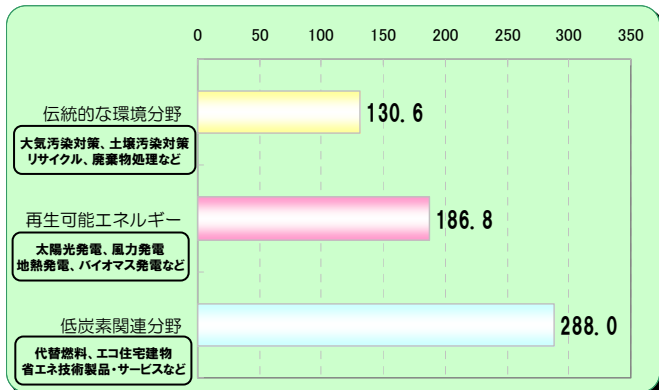
東北地域環境ビジネス企業データ集

環境ビジネス市場の成長性

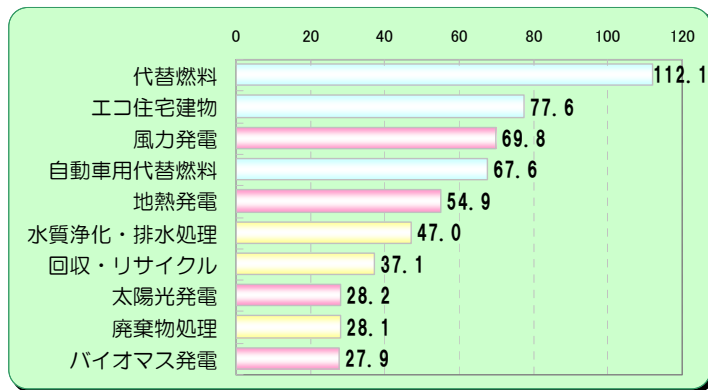
環境ビジネスの世界市場は成長性が高く、世界市場も視野に入れたビジネス展開や新事業創出が期待される分野です。

- ◆ 代替燃料をはじめとする低炭素部門や、風力発電をはじめとする再生可能エネルギー部門の市場が大きくなっています。
- ◆ 市場規模が大きい分野としてバイオマス等の代替燃料、エコ住宅、風力発電、自動車用代替燃料、水質浄化、リサイクル、太陽光発電等が挙げられます。
- ◆ ここ数年は市場成長率5%という高成長が続くと推計されています。

環境ビジネス市場(2007/2008年度) 単位:兆円



市場規模上位10分野(2007/2008年度) 単位:兆円

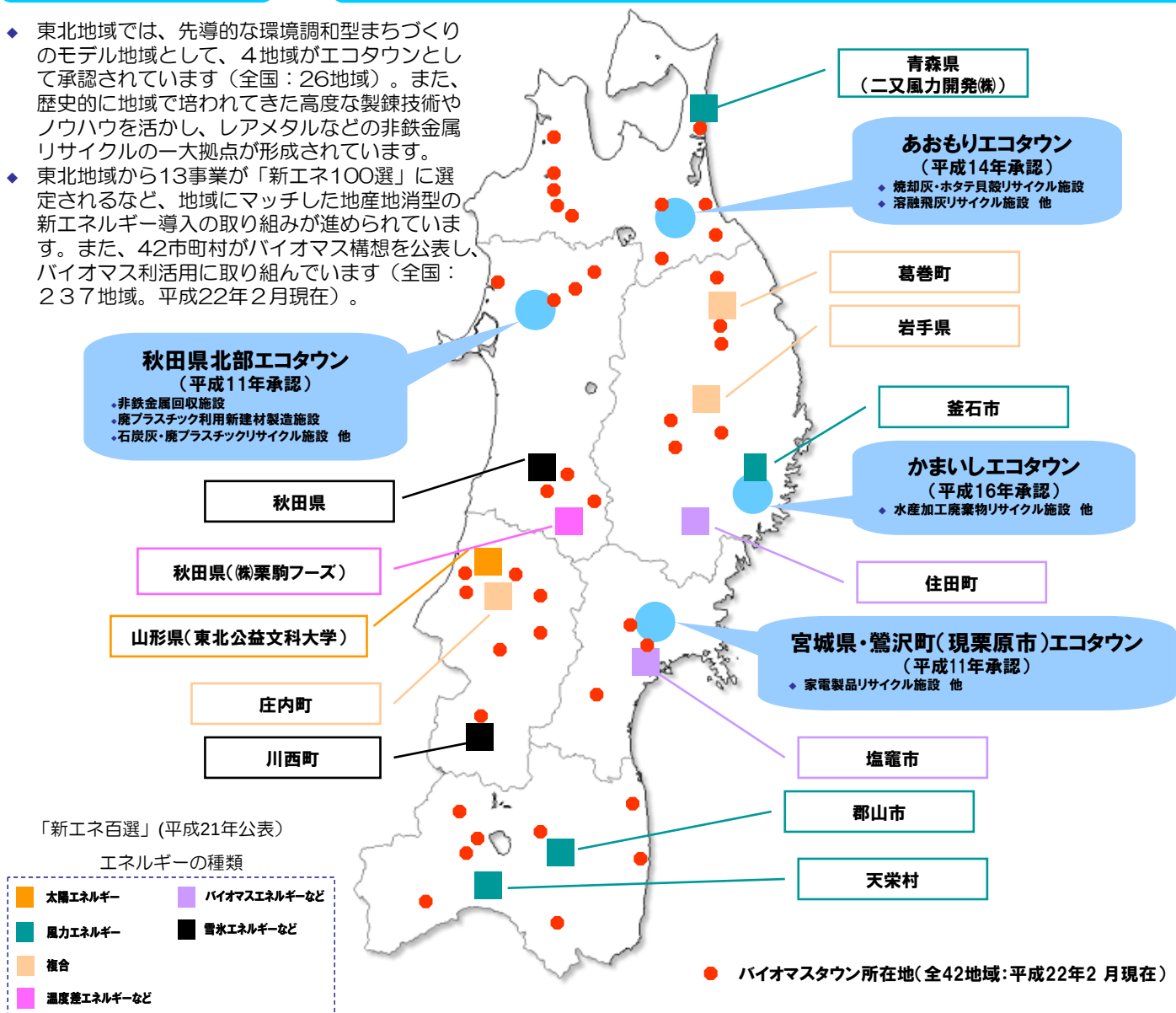


資料: 英国ビジネスエンタープライズ規制改革省(BERR) 報告書より作成

東北地域の特徴

東北地域では、資源循環型社会、低炭素社会の実現に向けて、地域資源を活用した様々な取り組みが行われています。

- ◆ 東北地域では、先導的な環境調和型まちづくりのモデル地域として、4地域がエコタウンとして承認されています(全国:26地域)。また、歴史的に地域で培われてきた高度な製錬技術やノウハウを活かし、レアメタルなどの非鉄金属リサイクルの一大拠点が形成されています。
- ◆ 東北地域から13事業が「新エネ100選」に選定されるなど、地域にマッチした地産地消型の新エネルギー導入の取り組みが進められています。また、42市町村がバイオマス構想を公表し、バイオマス活用に取り組んでいます(全国:237地域。平成22年2月現在)。



企業の強みと ポテンシャル

東北地域の企業は「人材」「コア技術」「事業戦略」を強みとして環境ビジネスを展開しています。また、今後は温暖化対策分野での活躍が期待されます。

- ◆ 東北地域の中小企業等を対象に実施したアンケート調査の中で、自社が参加している（あるいは今後参加意向のある）環境ビジネスの「環境分野」および「事業領域」を右表にならってご回答頂きました。【アンケート送付企業数：2,936社、回答数：705社、回答率：24%】
- ◆ その結果を下表に示すと、東北地域の企業は、「資源有効利用」分野で環境ビジネスを展開している企業が最も多くなっています。また、今後環境ビジネスに参加する意向のある企業は、「温暖化対策」分野でのビジネス展開を希望する企業が最も多い結果となっています。

環境分野

環境汚染防止	温暖化対策	資源有効利用	その他
大気汚染防止・浄化 水質汚染防止・浄化 土壌汚染防止・浄化 騒音・振動防止 有害物質処理	新エネルギー 省エネルギー	リデュース（廃棄物発生抑制） リユース（再使用） リサイクル（再資源化・再利用） 廃棄物処理	教育、研修、コンサルティング その他、左記に該当しないもの

事業領域

素材・部材	環境調和型製品	装置・プラント	サービス	その他
環境調和型製品や装置・プラントの一部に使用される素材、部品などの製造、販売	廃棄物等を利用した製品や、製品自体の使用が環境負荷の低減（公害防止、省エネ効果等）に資するような製品の製造、販売	公害防止装置、環境分析・モニタリング装置、新エネルギー省エネ設備、各種プラントなどの製造、販売	評価・コンサルティング業務、廃棄物の適正処理、環境配慮型の製造プロセスやシステムの構築など、環境負荷低減を図るサービスの提供	左記に該当しない事業。環境対応型（環境負荷の少ない）加工技術もここに含む。
【具体例】 再生プラスチックベレット、生分解性プラスチック、イオン交換膜、リチウムイオン電池、バイオ燃料、触媒、省エネ設計デバイス等	【具体例】 リサイクルゴム製品、再生プラスチック製品、電気自動車、省エネ家電、高効率給湯器等	【具体例】 非揮発性装置、有害物質処理装置、太陽光発電装置、バイオガス発電プラント、廃油リサイクル装置、廃棄物処理装置、水質汚濁測定装置等	【具体例】 環境アセスメント、環境マネジメントシステム導入支援、ESCO事業、廃棄物の収集・運搬・処理、売電事業、メンテナンス事業等	【具体例】 鉛フリーの加工技術、潤滑剤の使用を抑えた塑性加工、断熱コーティング技術

東北地域の企業の環境分野別・事業領域別参加動向（左表）および同参加意向（右表）【複数回答】



数字は参加企業数を示す

延べ258企業



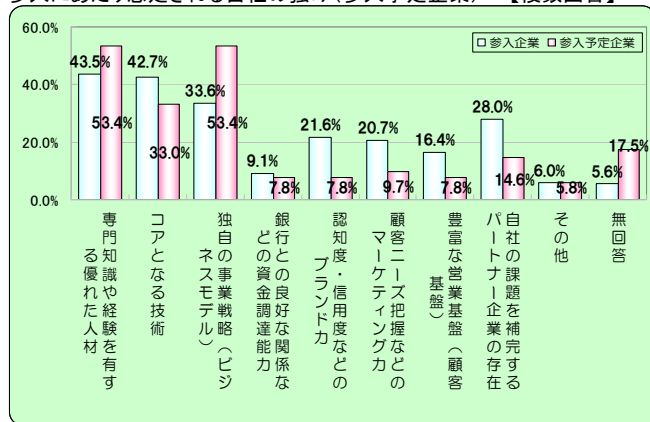
数字は参加意向のある企業数を示す

延べ104企業

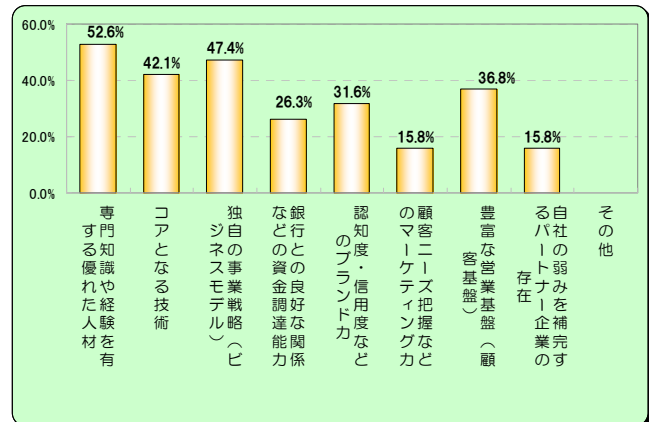
- ◆ 下左のグラフは、環境ビジネスに参加するにあたって企業が何を強みとしたかをアンケート調査から集計したものです。東北地域の企業は「専門知識や経験を有する優れた人材」（43.5%）、「コア技術」（42.7%）、「独自の事業戦略（ビジネスモデル）」（33.6%）を強みとして環境ビジネスを展開しています。
- ◆ 今後、環境ビジネスに参加する意向のある企業も、同様に「専門知識や経験を有する優れた人材」（53.4%）、「独自の事業戦略（ビジネスモデル）」（53.4%）、「コア技術」（33.0%）を活かした事業展開を目指しています。
- ◆ 企業を支援する金融機関も、東北地域の環境ビジネス関連企業の強みを「専門知識や経験を有する優れた人材」（52.6%）、「独自の事業戦略（ビジネスモデル）」（47.4%）、「コア技術」（42.1%）と見ています。（下右グラフ）

環境ビジネス参加にあたり活かした自社の強み（参加企業）

参加にあたり想定される自社の強み（参加予定企業）【複数回答】



金融機関から見た東北地域の環境ビジネス関連企業の強み【複数回答】



東北地域における
環境ビジネスの発展の可能性

今後、成長性の高い環境ビジネスにおいて、東北地域の資源や企業の強みを活かした新たな価値が次々と生み出され、企業間取引の拡大、新規事業の創出、ひいては地域経済の活性化や雇用創出に繋がることが期待されています。